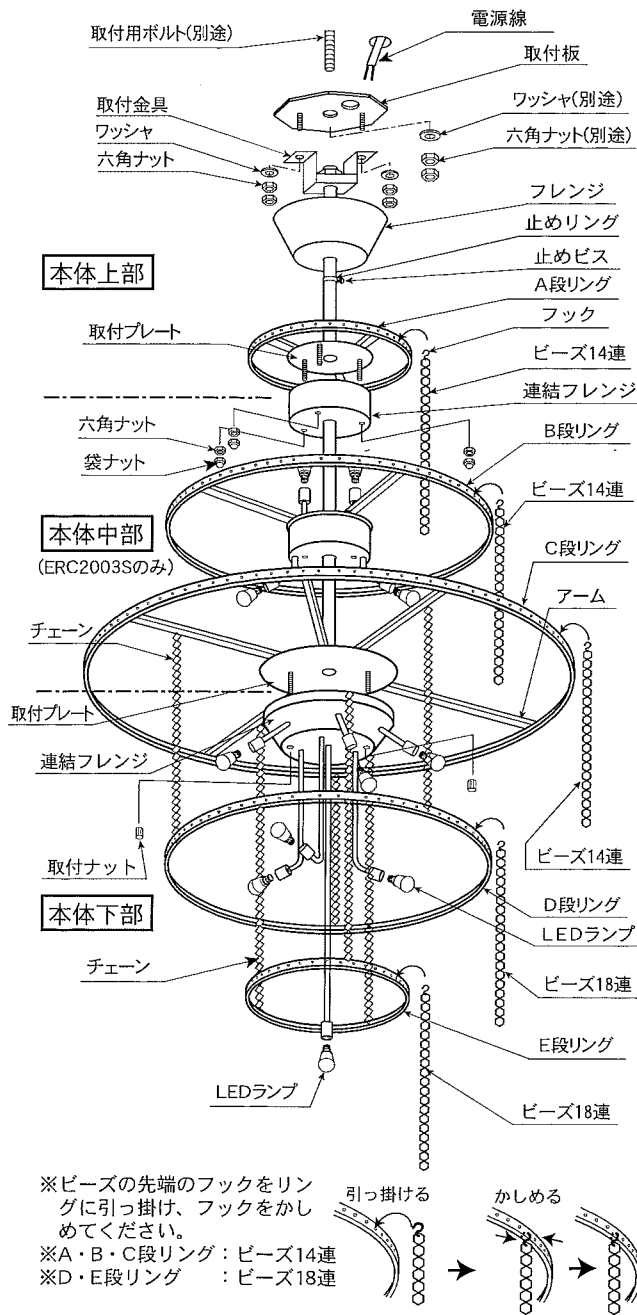


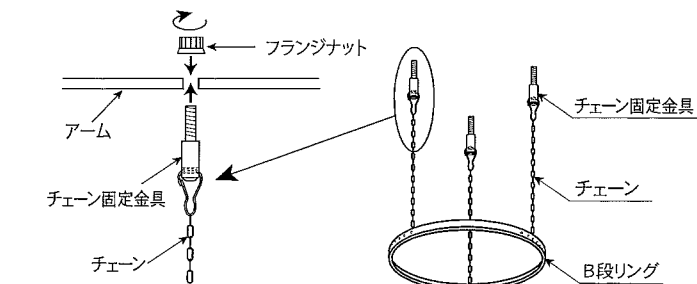
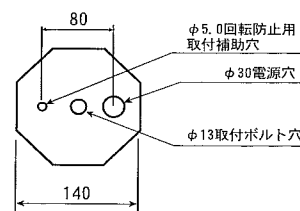
◆各部の名称 この図は一部省略抽象した共通部品図です



◆取付方法

- ①天井と本体上部の取付方法
- 1.安全確保の為、電源ブレーカー及び電源スイッチを遮断してください。
⚠ 感電の原因となります。
 - 2.器具重量に耐えるよう天井面の取付部を確保し、電源線を準備してください。
⚠ 強度不足ですと、落下の原因となります。
 - 3.取付板をアンカーボルトで天井に固定し、天井から出ている電源線を電源穴に通してフレンジ内部で結線出来るようにしてください。この時、付属のビスを補助穴から天井にさし、回転防止にしてください。
⚠ 取付部の強度が不十分な場合は、器具落下の原因となります。
 - 4.取付金具を取付板にワッシャと六角ナットでしっかりと固定してください。この時取付板から出ている電源線と本体上部を通っているリード線を結線してください。
⚠ 取付けに不備がありますと、落下の原因となります。
 - 5.フレンジを天井まで上げ、止めリングと止めビスで固定してください。
- ②本体中部の取付方法(ERC2003Sのみ)
- 6.本体中部の連結フレンジにあるコネクタに本体上部のリード線を結線してください。
●電源線はストリップゲージに合わせ指定の寸法でおいてください。
●操作レバーを起こしてクランプ部を開き、リード線を奥まで差込み、レバーを下に下ろしてください。
- 注:コネクタは2個で1セットになります。よって2本のリード線をそれぞれ別のコネクタに差込んでください。
-
- ⚠ 接続不完全な場合、火災・漏電・器具故障の原因となります。
- 7.取付プレートに連結フレンジをかぶせ、六角ナットと袋ナットで固定してください。
⚠ 取付けに不備がありますと、落下の原因となります。
- ③本体下部の取付方法
- 8.本体下部の連結フレンジにあるコネクタに本体中部のリード線(ERC2004Sは、本体上部のリード線)を結線してください。(6.参照)
⚠ 接続不完全な場合、火災・漏電・器具故障の原因となります。
 - 9.本体下部を取付プレートにかぶせて取付ナットで固定してください。
⚠ 取付けに不備がありますと、落下の原因となります。
 10. D段リングとE段リングから各々出ているチェーンを使い、C段リングのアームに付属のフランジナットで固定してください。
※1本のアームに対し、吊り上げるチェーンは1本にしてください。

◆取付寸法図



⚠ 取付けに不備がありますと、落下の原因となります。

◆取付方法

11. LEDランプをソケットに確実に取付けてください。
⚠ LEDランプがしっかり固定されているか確認してください。落下の原因となります。
⚠ LEDランプを強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください
⚠ 点灯中や、消灯直後(消灯後20分まで)にLEDランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。
12. ビーズを取付けてください。
⚠ 取付けに不備がありますと、落下の原因となります。

◆仕様

器具型番	定格電圧	定格周波数	消費電力	入力電流	ランプ			口金
ERC2003S	AC100V	50Hz/60Hz	75W	1350mA	LEDZ LAMP	RAD-428L	15灯	E17
ERC2004S	AC100V	50Hz/60Hz	50W	900mA	LEDZ LAMP	RAD-428L	10灯	E17

◆適合ランプ

ランプ型番	定格電圧	定格周波数	消費電力	入力電流	ランプ色	調光	口金
RAD-428L	AC100V	50Hz/60Hz	5W	90mA	電球色タイプ(2700K)	調光不可	E17

- ⚠ 適合LEDランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。火災・器具故障の原因となります。
⚠ LEDランプ交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆LED光源について

- ・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDランプが完全に消灯しない場合があります。
- ・ラジオやテレビなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
- ・赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯しますと、誤動作する場合があります。
- ・大電力機器(コピー機、ドライヤー、電子レンジ、冷暖房機器など)を使用した場合の瞬時的な電圧変動によって、ちらついたり明るさが変化したりする場合があります。

■清掃方法について ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をうすめ布につけ、よく絞ってから器具を拭き取り、その後乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事に依頼してください。
アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。